



## 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月2日

上場取引所 東

上場会社名 クボテック株式会社

コード番号 7709 URL <http://www.kubotek.com/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 久保哲夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 柿下尚武

TEL 06-6443-1815

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	620	75.3	△71	—	△69	—	△74	—
25年3月期第1四半期	353	△68.8	△197	—	△197	—	△206	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 △95百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △215百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△540.85	—
25年3月期第1四半期	△1,499.47	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	4,481	943	21.1	6,854.57
25年3月期	4,327	1,038	24.0	7,545.23

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 943百万円 25年3月期 1,038百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,200	51.4	△165	—	△175	—	△180	—	△13.07
通期	2,900	45.3	50	—	30	—	20	—	1.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元を100株とする単元株制度を採用する予定であり、当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、第2四半期(累計)及び通期の1株当たり当期純利益を算定しております。

なお、当該株式分割を考慮しない場合の1株当たり当期純利益は、第2四半期(累計)が△1,307円38銭、通期が145円26銭となります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	138,300 株	25年3月期	138,300 株
26年3月期1Q	620 株	25年3月期	620 株
26年3月期1Q	137,680 株	25年3月期1Q	137,680 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新政権への期待感等を背景に円安や株価の回復が進むなど景気回復の兆しが見え始めましたが、依然として先行き不透明な状況が続いております。液晶を始めとするフラットパネルディスプレイ(FPD)の分野におきましては、スマートフォン、タブレット端末等の製品市場が好調なもの、液晶テレビなどの需要低迷が続き、FPDメーカーの設備投資は慎重な状況が続きました。

このような環境の中、当社グループは営業強化と製品開発、徹底したコスト削減を中心とした事業構造の改革に取り組み、売上と利益の確保に努めてまいりました。この結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高620百万円(前年同四半期比75.3%増)、営業損失71百万円(前年同四半期は営業損失197百万円)、経常損失69百万円(前年同四半期は経常損失197百万円)、四半期純損失は74百万円(前年同四半期は四半期純損失206百万円)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

日本セグメントでは、主力製品である画像処理外観検査装置の販売が中国ユーザー向けで増加し、損失が縮小しました。この結果、売上高は318百万円(前年同四半期比113.0%増)、セグメント損失は107百万円(前年同四半期はセグメント損失195百万円)となりました。

米国セグメントでは、CAD/CAMソフト「KEYCREATOR」を中心に積極的な営業活動を行い、売上は微増となりましたが、開発経費が増加しました。この結果、売上高は84百万円(前年同四半期比7.0%増)、セグメント損失は15百万円(前年同四半期はセグメント損失14百万円)となりました。

韓国セグメントでは、画像処理外観検査装置の改造工事が韓国ユーザー向けで好調に推移しました。この結果、売上高は217百万円(前年同四半期比73.2%増)、セグメント利益は23百万円(前年同四半期比618.6%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ154百万円増加しました。流動資産は現金及び預金の増加203百万円、売上債権の減少128百万円、たな卸資産の増加72百万円などから128百万円増加し、固定資産はソフトウェアの取得などにより25百万円増加しております。

負債は、前連結会計年度末に比べ249百万円増加しました。流動負債は仕入債務の増加223百万円、短期借入金の増加26百万円などから305百万円増加しました。固定負債は長期借入金の減少58百万円などにより、56百万円減少しております。

純資産は、四半期純損失74百万円の計上などにより、純資産合計が95百万円減少しました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月15日発表の業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## 税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において、売上高が著しく減少し、その結果、連続して重要な営業損失、経常損失、当期純損失及び営業キャッシュ・フローのマイナスを計上いたしました。これにより継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しておりました。当第1四半期連結累計期間においても、売上高は回復傾向にあるものの営業損失、経常損失、四半期純損失を計上しており、引き続き継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しておりますが、当該事象等を解消するため、主に日本セグメントにおいて、事業構造の改革に取り組んでおり、重要な資金繰り懸念もないことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

当該事象等を解消するための具体的な施策は、次のとおりであります。

検査機システム事業においては、有機EL、機能性フィルム、タッチパネル向けなど従来の液晶以外の画像処理外観検査装置の開発、販売を強化し新規顧客の開拓を進めると共に、成長が見込まれる中国市場に注力いたします。創造エンジニアリング事業においては、3Dソリューションシステムの販売が海外で増加していますが、さらに国内での販売を強化しグローバルな収益拡大を図ってまいります。メディアネット事業においては、市場ニーズの高い放送局向けなどのハイビジョン映像伝送装置の販売拡大を目指します。

製造に関しては海外生産を進めるなどコストを削減し、さらに設備投資の抑制と人件費などの固定費削減効果から、損益分岐点を引き下げ、今後想定する売上高でも利益を確保する損益構造への改善に取り組んでまいります。

さらに新規事業として今後需要の拡大が見込まれるエネルギー分野の研究開発を行っております。再生可能エネルギーの大量導入に伴い、安全、低コストで大容量の蓄電媒体が求められることから、当社グループは、前連結会計年度から次世代フライホイール蓄電システムの開発を、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）からの助成金交付も受けて進めておりますが、同システムの早期事業化を推進してまいります。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,317,331	1,520,998
受取手形及び売掛金	728,046	599,410
商品及び製品	39,056	46,098
仕掛品	263,377	331,968
原材料及び貯蔵品	169,416	165,837
繰延税金資産	687	717
その他	93,243	73,269
貸倒引当金	△66,753	△65,014
流動資産合計	2,544,405	2,673,286
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	476,058	470,070
土地	1,117,578	1,117,578
その他(純額)	53,695	50,865
有形固定資産合計	1,647,332	1,638,514
無形固定資産		
ソフトウェア	72,662	105,559
その他	2,285	2,285
無形固定資産合計	74,948	107,845
投資その他の資産		
その他	60,434	65,715
貸倒引当金	—	△4,157
投資その他の資産合計	60,434	61,558
固定資産合計	1,782,715	1,807,918
資産合計	4,327,120	4,481,204
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	278,687	501,929
短期借入金	2,102,000	2,128,000
未払法人税等	8,383	8,860
賞与引当金	11,900	5,017
その他	284,328	347,391
流動負債合計	2,685,299	2,991,198
固定負債		
社債	100,000	100,000
長期借入金	446,000	388,000
繰延税金負債	—	18
退職給付引当金	52,807	54,063
その他	4,187	4,187
固定負債合計	602,994	546,269
負債合計	3,288,293	3,537,468

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,951,750	1,951,750
利益剰余金	△905,747	△980,210
自己株式	△81,658	△81,658
株主資本合計	964,344	889,881
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	33
為替換算調整勘定	74,482	53,822
その他の包括利益累計額合計	74,482	53,855
純資産合計	1,038,826	943,736
負債純資産合計	4,327,120	4,481,204

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	353,872	620,178
売上原価	291,362	430,941
売上総利益	62,509	189,236
販売費及び一般管理費	259,956	260,248
営業損失(△)	△197,446	△71,011
営業外収益		
受取利息	33	31
受取賃貸料	2,865	2,880
為替差益	4,184	4,608
その他	1,072	296
営業外収益合計	8,156	7,816
営業外費用		
支払利息	8,273	6,402
その他	0	11
営業外費用合計	8,273	6,414
経常損失(△)	△197,564	△69,608
特別損失		
投資有価証券評価損	5,664	—
特別損失合計	5,664	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△203,229	△69,608
法人税等	3,217	4,855
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△206,446	△74,463
四半期純損失(△)	△206,446	△74,463

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△206,446	△74,463
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,908	33
為替換算調整勘定	△11,764	△20,659
その他の包括利益合計	△8,856	△20,626
四半期包括利益	△215,303	△95,090
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△215,303	△95,090
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	日本	米国	韓国	
売上高				
外部顧客への売上高	149,576	78,972	125,323	353,872
セグメント間の内部売上高 又は振替高	24,132	3,641	9,125	36,899
計	173,708	82,614	134,449	390,771
セグメント利益又は損失(△)	△195,663	△14,405	3,257	△206,811

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△206,811
セグメント間取引消去	1,522
その他	7,842
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△197,446

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	米国	韓国	
売上高				
外部顧客への売上高	318,572	84,492	217,112	620,178
セグメント間の内部売上高 又は振替高	69,472	4,235	14,245	87,953
計	388,045	88,728	231,357	708,131
セグメント利益又は損失(△)	△107,126	△15,989	23,411	△99,705

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△99,705
セグメント間取引消去	2,071
その他	26,622
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△71,011

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。